

## 2021年度基礎研修レポート 研修テーマ（学校教育論～学校とはなにか）

【クラブ】（たけのこクラブ）

【名 前】（米本美紀）

今回の講座では、29名の参加となりました。

学校とはなにか？というところから、学校の歴史を学びました。

その中でも、一番感心を持った言葉が「ゼロ・トレランスの問題」でした。

ゼロ・トレランスとは、教育理念の一。軽微な規則違反であっても寛容せず、厳しく罰することで、より重大な違反を未然に防ごうとするものだそうです。

意味を知ると、ひと昔の学校教育という場合は、そうだったように感じます。

でも、近代では「ゼロ・トレランスな働きでは子ども達を生活の主体として成長、発達させることはできない。安心して自分を表現したり、支えあい学びあうことのできる関係のなかでこそ、人格を豊かに発達させていくことが必要だと学びました。

例えば、物を隠す子どもに対してゼロ・トレランスの指導では「ダメ」となりますが、近代教育では「隠してしまうのは、なぜか？」を考える教育が今の子ども達には必要だと感じました。

学習面に対しても、時代が変わり今ではプログラミング学習や外国語教育の教科、タブレット学習なども増え、本当にたくさんの事を今の子ども達が学習し、成長しているんだと改めて気づきました。

決められた事だけをやっているのではなく、時に自分で考え学んでいるということも子ども達には、必要な教育課程だと思いました。

きっと、これからの学校はもっと色々な意味で変わっていくんだと思いました。

グループディスカッションでは、テーマを「子どもの人権」について意見を出し合いました。

例としては「〇〇することで、私は〇〇する権利を持っています。なぜなら、それをする事によって、自分は〇〇する事で〇〇ができるからです」

この文面を元に、自分のクラブの子ども達の「なぜ？」を例えて意見交換をしました。

私は「泣く」をテーマにし、よく泣く子はなぜ？を発表しました。

「私は、泣くことで自分の辛さを相手に伝える権利を持っています。なぜなら、私は自分の気持ちを相手に伝える事が苦手なので、泣く事でイヤな思いをした事を人に伝えることができるからです」と、考えました。

色々な子どもの権利の例えがあり、とても有意義な時間でした。

子どもの行動には、必ず「理由」があるという事、その思いに寄り添って子どもの気持ちを酌んであげる事が大切なんだと思いました。